

特集・難病患者支援の課題と展望

難病患者支援の歴史的経緯（厚生労働省健康局疾病対策課）

難病患者支援の現状と課題（福永秀敏）

医療支援の現状と課題—在宅看護の立場から—ア

コモケア在宅支援センターの試み（松木満里子）
神経難病患者の地域医療ネットワーク構築の課題
と展望（川田明広）

就労支援の現状と課題（伊藤美千代）

福祉的支援の現状と課題（水谷幸司）

九州北部豪雨，41 福祉施設が被害

7 月 11 日～14 日にかけて，九州北部地方を中心に降った大雨による被害は，8 府県で死者・行方不明 32 人，負傷 20 人，住宅の損壊 468 棟，床上床下浸水 1 万 47 棟に及んだ（7 月 19 日午後 5 時現在，消防庁発表）。

福祉施設は福岡県で 2 か所，大分県で 13 か所，熊本県で 26 か所が，建物損壊，床上床下浸水などの被害を受けた。

熊本県のまとめや全国社会福祉協議会などに入った連絡によれば，特に被害が大きかった同県阿蘇市では，特別養護老人ホーム「あそん里」裏の土の傾

斜面が崩壊し，居室の 3 分の 2 に土砂が流入した。入所者と職員は施設内のホールに避難していたため全員無事だった。

また，同市の障害者グループホーム「グリーンハウス」では，浸水を避けるために利用者とテレビなどを 2 階に上げているうちに水位が床上 1.5 m まで急上昇。利用者全員がボートで救出され，現在は同一法人内の入所施設で避難生活をしている。施設の物品などを持ち出す時間はなく，利用者の持ち物もほとんど使えなくなったという。

（福祉新聞・2584 号 2012 年 7 月 23 日）